TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)とは、ゴム・熱可塑性エラストマーに分類される樹脂の材料です。軽量なエラストマー。

SEBS ・ Kraton G

最終更新：2026/10/30

0.91 g/cm³
比重（密度）

15 MPa
引張強さ

100 °C
最高使用温度

TPU・TPU・シリコーンゴム HTVとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー) このページ	TPU (熱可塑性ポリウレタン)	TPU (熱可塑性ポリウレタン エーテル系)
引張強さ	15 MPa	50 MPa	45 MPa
硬さ	30-90 Shore A	—	70-95 Shore A
線膨張係数	—	150 µm/m·K	—
最高使用温度	100 °C	—	80 °C
密度	0.91 g/cm³	1.2 g/cm³	1.12 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 軽量なエラストマー
- FDA対応グレードあり
- 着色自由度高い
- PP・PEとの二色成形可能

主な用途

- グリップ・ハンドル
- 医療用チューブ

- 食品包装シール
- ベビー用品

選び方

軽量で食品・医療対応のソフト素材が必要な場合に。

メリット

- 軽量
- FDA対応
- 二色成形可
- 着色自由

デメリット

- 耐油性低い
- 耐熱性限定

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	100 °C	—

物理的性質

密度	0.91 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合
fda	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の密度（比重）は？

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の密度（比重）は0.91 g/cm³です。

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の引張強さは？

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の引張強さは15 MPaです。

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の最高使用温度は？

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の最高使用温度は100 °Cです。

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の硬さは？

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の硬さは30-90 Shore Aです。

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)の主な用途は？

TPE-S (SEBS系熱可塑性エラストマー)は、グリップ・ハンドル、医療用チューブ、食品包装シールなどに使われます。